

4月委員会報告

総務常任委員会

22年4月13日

宮崎県新富町議会視察受入れ

議会運営委員会から委員長他4名が、議会基本条例制定について研修にこられ、御船町議会総務常任委員会5名と活発な意見交換を行った。

民生文教常任委員会

請願第2号「現行保育制度の維持と子育て支援施策の拡充について国への意見書提出を求める請願」民生文教常任委員会における審議の経過と結果について

4月13日、委員全員の出席、説明委員として福祉課より松岡福祉課長、成松係長の出席を求めた。

また、請願者、上益城郡保育連盟会長、沖田昌史氏の意見を聞いた。

内容としては、昨年末の政府における保育制度の改革についての議論は、児童福祉施設最低基準の撤廃や民間保育所運営一般財源化など、正に保育の公的責任を後退させる方向が提示されており、こうした改革が拙速に進められれば、経済効率が優先されることによる地域の経済格差が保育の地域格差につながり、また、家庭の経済の状況により、子どもが受ける保育の質に格差が生じると言うものだった。

子どもたちの育ちがこの国の未来であり、国や自治体の責任で保育・子育て支援施策を大幅に拡充することが必要とのことで、次の項目について各主務大臣に請願書を送付した。

請願項目

- 1 児童福祉法の理念が崩壊しないように、国は保育所の児童福祉施設最低基準を地方へ委譲することなく、すべての子どもたちの健やかな育ちを保証するよう国の責任で抜本的な改善をすること。
- 2 私立保育所運営費の一般財源化は、地域間格差を広げ、子どもの享受する平等な保育を損ない、質の低下を招くことになり、断固反対する。
- 3 児童福祉法第24条の規定に基づく現行の保育制度を堅持・拡充し・幼保一体化については、決して認定こども園の「直接契約方式」を導入することはないよう要望する。「直接契約方式」の導入は、例えば世帯が保育料支払い能力により選別されることに繋がるしくみであり、結果、保育の必要度の高い困窮世帯が保育園に保育園に入れなくなる等の大きな懸念があり、断固反対する。

全会一致で採択と決した。

産業建設常任委員会

滝尾小イノシシ被害対策にLED機器

滝尾小イノシシ被害対策と七滝防護柵設置について、平成22年4月19日午後3時より審議会室において、審議した。

滝尾小学校のイノシシ被害状況について、『小学校グラウンド周辺がイノシシに荒らされているため、町内在住者の方が、新聞に掲載されていた害獣駆除対策に朗報という記事で、イノシシ撃退用LED機器「ピカちゃん」の利用を推奨されたため、現在滝尾小学校では、この機器を試験的に採用している』とのことだった。

説明を受けた後、現地視察を行った。イノシシの足跡は多数あり、獣道も多数あるが、学校が行っている柵までは越えておらず、このLED機器が役に立っているのかも知れないとの見解で、この事は教育委員会に報告した。

次に七滝神社周辺の防護柵の取替と河川への昇降階段の補修について審議した。

先に現地視察を行い確認したほうがよいとの委員の提案で現地視察を行った。手すり約40mを偽木で補修して、鉄板階段も補修との説明であった。

平成22年度 第1回全員協議会報告(4月2日)

報告・協議事項

1 通年議会(会期日程)について

- ・平成22年度第1回定例会(4月会議)4月7日に決定
- ・平成23年3月31日までの359日間(会期日程)

2 議会運営委員会からの報告、協議事項について

- ・議会報告会 5月10日～5月13日まで
- ・申合わせ事項の89条を協議する
- ・全協と活性化協の取扱いについて
- ・議員名刺について…研修用としてつくる

3 総務常任委員会(4月開催分)からの報告

- ・平成22年4月13日(火)午後1時30分
- ・宮崎県新富町議員視察研修受け入れ

4 民生文教常任委員会(4月開催分)

- ・平成22年4月13日(火)午前10時
- ・請願審議

5 産業建設常任委員会(4月開催分)

- ・平成22年4月19日(月)午後3時
- ・滝尾小学校のイノシシ被害対策
- ・七滝防護柵設置について

6 その他の報告、連絡事項

- ・教育委員会からの報告
- ・平成21年度(平成20年度分)教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書の提出について